

長野県北部地震に伴う神城断層近傍のコサイスミックな流体移動 Observation of co- and post-seismic fluid migration in and around Kamishiro Fault, Naganoken-Hokubu earthquake

田中 秀実^{1*}; 地殻流体 研究グループ¹
TANAKA, Hidemi^{1*}; GEOFLUID, Research group¹

¹ 田中秀実
¹ Hidemi Tanaka

平成26年11月28日、長野県北部北安曇郡白馬村の神城断層が活動し、同断層を震源断層としたM6.7の地震(長野県北部地震)が発生した。本地震により神城断層およびその北方延長の活動域において、約9kmに渡る地表活断層が露出した。

本地震に前後して、コサイスミックな流体(温泉)の湧出および水位低下が観測されている。我々のグループでは、地震の約1週間後から、平成27年2月現在まで、流体挙動の観測および化学組成の測定を行ってきた。

本公演では、長野県北部地震に伴って観察された流体移動の原因を考察し、神城断層の水利特性について考察する。

キーワード: 長野県北部地震, 神城断層, 流体, 温泉, 破碎帯, 水利特性

Keywords: Naganoken-Hokubu earthquake, Kamishiro Fault, Fluid, Hot spring, Fracture zone, hydrological characteristics